

愛称 マリンラボ長崎

# 漁海況通信

長崎県総合水産試験場 漁業資源部 海洋資源科  
〒851-2213 長崎市多以良町 1551-4 電話 095-850-6304 FAX 095-850-6346  
ホームページアドレス <https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

## 五島海区におけるキビナゴの資源評価

### 五島海区におけるキビナゴの資源水準は中位、動向は横ばいと判断されます

#### I. 漁獲量の動向

五島海区におけるキビナゴの漁獲量は、近年750トン前後で推移していましたが、平成30年の漁獲量は、940トンで前年を上回り(前年比131%)、過去10年で最高となりました。

(図1)

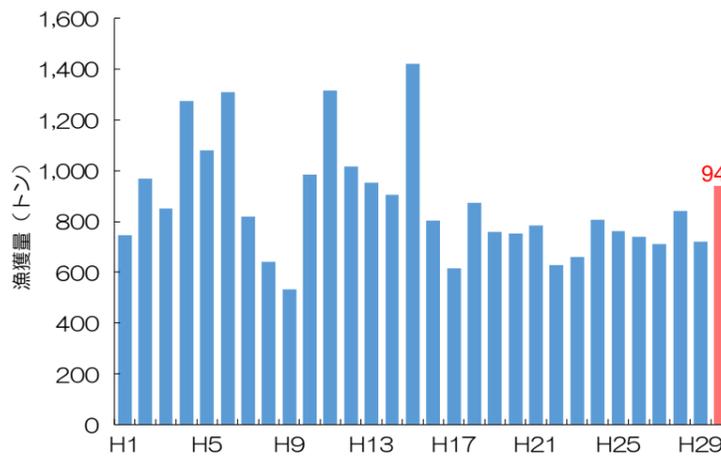


図1 五島海区におけるキビナゴの漁獲量 (H18までは農林水産統計年報、それ以降は推定値)

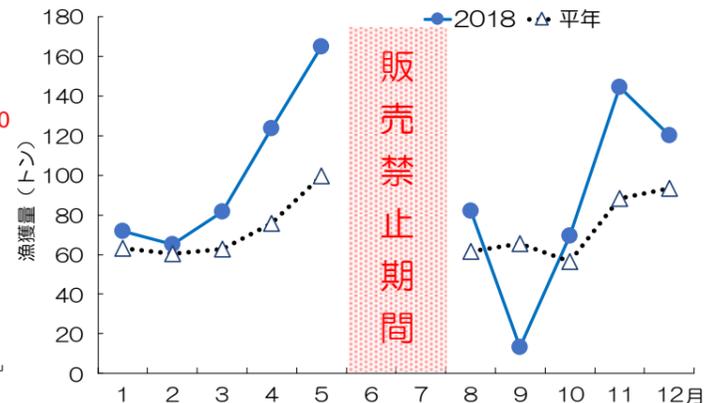


図2 五島標本漁協のキビナゴの漁獲量

平成30年の標本漁協におけるキビナゴの月別漁獲量は、平年より少なかった9月を除き、3~5月、8月、10~12月は平年より多く、好漁で推移しました。(図2)

※過去5年間の平均値より20%以上下回った場合を「少ない」、上回った場合を「多い」としました。

#### II. 近年の産卵期の特徴

既往の知見では、五島海区におけるキビナゴの産卵期は6~9月と考えられています。直近5年の産卵期を見ると、平成26年は概ね平年どおり、平成27~29年は10月まで、平成30年は7~9月まで成熟したキビナゴが確認される等、産卵期に若干の年変動が生じています。(図3)

※ H27は6月と7月は欠測のためデータがありません。

生殖腺指数は、キビナゴの体重に対する卵巣・精巣の重さの割合を指標にしたものです。卵巣・精巣が発達したキビナゴが多い月に色をつけています。

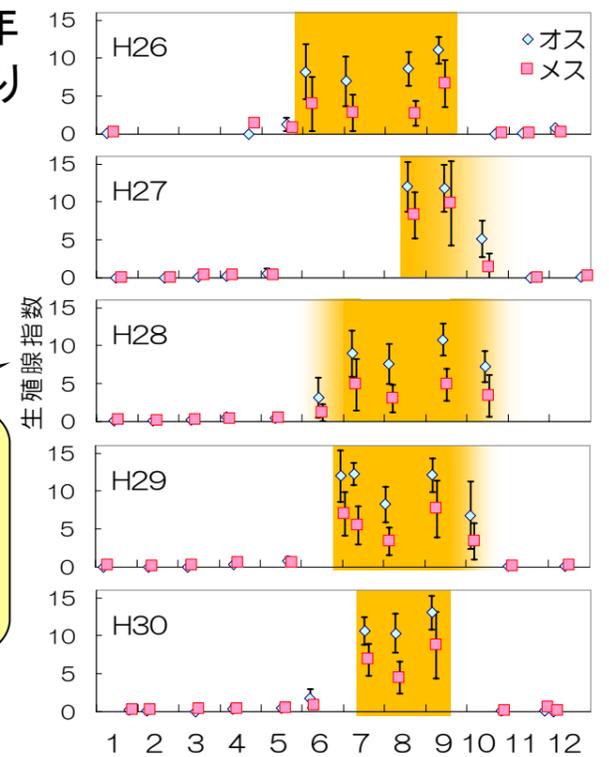


図3 生殖腺熟度指数の月別の推移

#### III. 資源評価

五島海区の漁獲量から算出した資源量指数から、平成30年におけるキビナゴの資源水準は中位にあり、過去5年間の動向から横ばいと判断しました。(図4)

※ 資源水準：H1~H29の資源量指数の最大値と最小値の間を3分割し、0.9以下を低位、0.9~1.4を中位、1.4以上を高位としました。  
資源動向：過去5年間の資源量指数の平均値より20%以上下回った場合を「少ない」、上回った場合を「多い」、中間を「横ばい」としました。

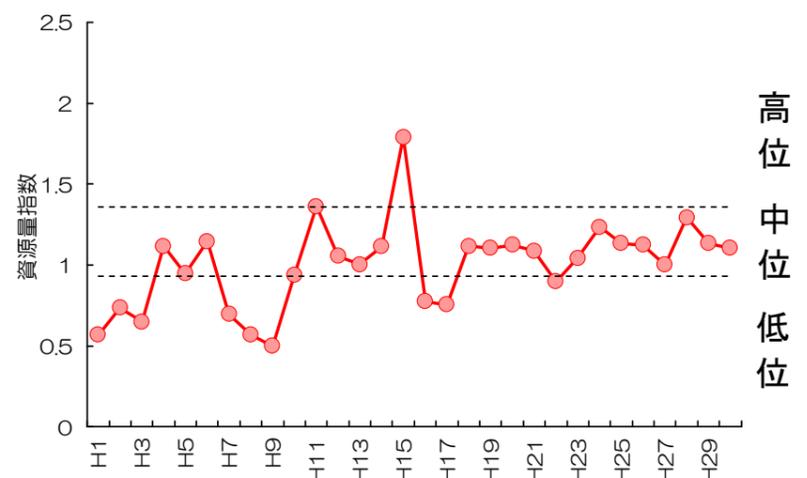


図4 五島海区におけるキビナゴの資源量指数